News Release

2026年 7 月 28 日
日本製紙クレシア株式会社

月替わりの審査員による毎月審査を初実施

第４回『#カクレシアワセ フォトコンテスト』を開催

Instagram １投稿につき 100 円を「まほうのだがしや チロル堂」へ寄付

「隠れたしあわせ」に関する調査では８割以上が写真で見返すことは前向きなきっかけになると回答

日本製紙グループの日本製紙クレシア株式会社〔住所：東京都千代田区神田駿河台4-6、代表取締役社長：藤原隆史〕は、日常の中にある小さくて気づきにくい、隠れたしあわせ「カクレシアワセ」をテーマにした、第4回「#カクレシアワセ フォトコンテスト」を、2026年8月１日（土）から2026年10月31日（土）まで開催します。

本コンテストは、日常のなかで小さなしあわせを感じた瞬間を、「#カクレシアワセ」のハッシュタグを付けてInstagramのフィードへ写真投稿することで参加できるフォトコンテストです。日本製紙クレシアは本企画を通じて、日々の暮らしのなかにある“隠れたしあわせ”に気づくきっかけをつくり、「しあわせの総量をふやす」ことを目指しています。

あわせて実施した「隠れたしあわせ」に関する調査では、81.5%が「『隠れたしあわせ』を写真で見返すことは、自分の気持ちを前向きにするきっかけになると思う」と回答しました。また、65.5%が「『隠れたしあわせ』の瞬間を写真に残しておきたいと思うことがある」と回答した一方で、58.7%が普段、日常の中にある「隠れたしあわせ」を十分に意識できていないことも明らかになりました。

日常のなかに確かに存在しているのに、忙しさのなかで見過ごしてしまいがちな“カクレシアワセ”。一方で、それを写真に残し、見返すことには前向きな価値があると多くの人が感じていることがうかがえます。日本製紙クレシアは、こうした調査結果を背景に、本コンテストを通じて生活者一人ひとりが身近なしあわせに気づき、それを共有するきっかけを広げていきたいと考えています。

日本製紙クレシア株式会社
東京都千代田区神田駿河台 4-6 〒101-8215
https://www.crecia.co.jp/

今回の第4回では、新たな取り組みとして、月替わりの審査員による毎月審査を実施します。8月は加賀翔さん、9月は6151さん、10月は国分真央さんがそれぞれ審査を担当。毎月11名、計33名を表彰します。
さらに、「#カクレシアワセ」1投稿につき、1チロル（100円）を日本製紙クレシアより、奈良県生駒市にあるまほうのだがしや「チロル堂」へ寄付します。寄付上限額は50万円です。一人ひとりの投稿が、子どもたちの笑顔につながる参加型の企画となっています。

■開催概要

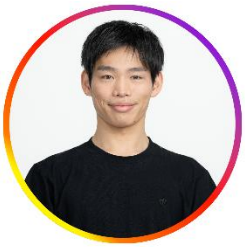
1. 応募期間
2026年8月1日（土）～2026年10月31日（土） 23:59まで

2. 応募方法
「#カクレシアワセ」のハッシュタグをつけて写真とともにInstagramのフィードへ投稿
※どんな瞬間を切り取ったお写真なのかなど背景にあるエピソードを合わせてご投稿いただくと審査がしやすいです。
※過去に撮影したものでも可です。
※応募に関しての注意事項等詳細は、キャンペーンサイトをご確認ください。

3. 応募条件
受賞連絡はInstagramのDMにて行うため、カクレシアワセ公式アカウント「@crecia_cp」のフォローが必要です

4. 表彰（計33名）
・大賞（毎月1名）　：賞金5万円+ティシュー・トイレットロール1年分
・入賞（毎月10名）　：クレシアギフト詰め合わせ

5. 審査員プロフィール
8月担当：かが屋　加賀翔さん



マセキ芸能社に所属するお笑いコンビ「かが屋」のメンバー。2015年に相方の賀屋壮也さんと「かが屋」を結成し、2019年、2022年にキングオブコント決勝進出。写真撮影が趣味・特技であり、Nikonプロフェッショナルフォトグラファー認定。東京ニュース通信社「TVガイドPERSON」、WEB「ENCOUNTER MAGAZINE」、集英社「SPUR」にてカメラマンとして連載を持つほか、TBS「ラヴィット!」の企画では『ヤングジャンプ』の表紙、巻頭、巻中、巻末、付録、裏表紙すべてのカメラマンを担当。2025年には東京ドームシティGallery AaMoで、歌手・中森明菜さんを撮影した写真展「43rd ANNIVERSARY AKINA NAKAMORI PHOTO EXHIBITION」を開催。お笑い芸人、カメラマンのほか、TVやCM、映画など幅広く活躍中。
Instagram：https://www.instagram.com/kagaya_kaga/
X：https://x.com/kaga_kagaya

9月担当：6151さん

東京都出身のフォトグラファー。国内外で風景からブツ撮りまで幅広く撮影。雑誌やウェブで旅にまつわる執筆を行うほか、全国でフォトワークショップを開催するなど、「写真の楽しさ」を伝える活動にも取り組む。著書に『日々を美しく記録するフォトレッスン』のほか、2026 年 7 月には『フォトグラファー 6151 と行く PHOTO TRIP［日本編］』を発売。日常の他愛ない光景と珈琲のある空間を好む。
Instagram：https://www.instagram.com/6151/

10月担当：国分真央さん

1990年東京都生まれのフォトグラファー。映像制作会社や写真事務所を経て独立し、2020年に東京都から山梨県に移住。広告写真やCDジャケットでの作品提供など幅広いジャンルで活躍している。日常の豊かな美しさや静謐な瞬間を撮影し、光の調和を得意とした作風に定評がある。近年は執筆活動や観光事業撮影、写真講師なども行っている。
Instagram：https://www.instagram.com/mao_kokubu/

6. 賞品発送
審査員による厳正なる審査の上、当選者の発表は、InstagramのDMにてご連絡いたします。そのメッセージの通知をもって発表にかえさせていただきます。

7. 寄付について
「#カクレシアワセ」1投稿につき、1チロル(100円)を、日本製紙クレシアより奈良県生駒市にある、まほうのだがしや「チロル堂」に寄付いたします。チロル堂にも、カクレシアワセがたくさん詰まっています。一人ひとりの投稿が子どもたちの笑顔につながります。
※寄付上限額50万円

8. キャンペーンサイト及びInstagram公式アカウント
・第4回「#カクレシアワセ フォトコンテスト」 キャンペーンサイト
https://www.crecia.co.jp/campaign/kakureshiawase4/
・「#カクレシアワセ フォトコンテスト」 Instagram公式アカウント
https://www.instagram.com/crecia_cp/

9. キャンペーンに関するお問い合わせ先
「#カクレシアワセ フォトコンテスト」Instagram公式アカウントへDMにてお問い合せください。
https://www.instagram.com/crecia_cp/

■カクレシアワセ　とは
朝の光が部屋にきれいに差しこんだ
街で流れてきた音楽が懐かしいあの曲だった
ちょっと照れたけど素直に“ありがとう”を伝えられた

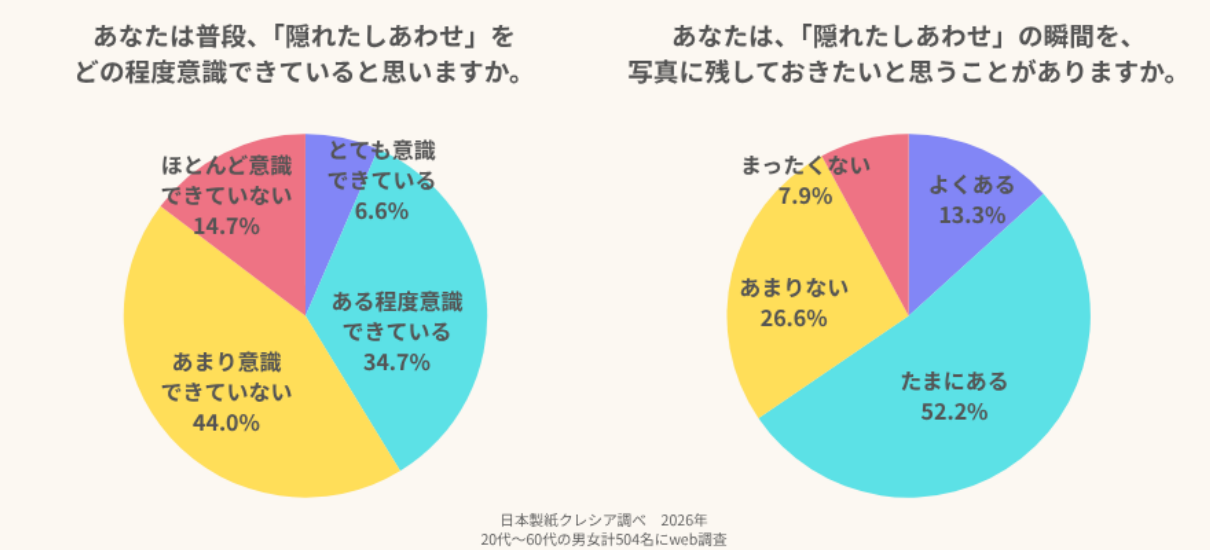
なにげない日常のなかにある
小さくて気づきにくい　隠れたしあわせ
それが「カクレシアワセ」です

あっという間に過ぎていく日々のなか
少しだけ立ち止まってみませんか
あなたの周りには
たくさんの「カクレシアワセ」があふれているはず
それに気づくと毎日はもっとしあわせになるかも

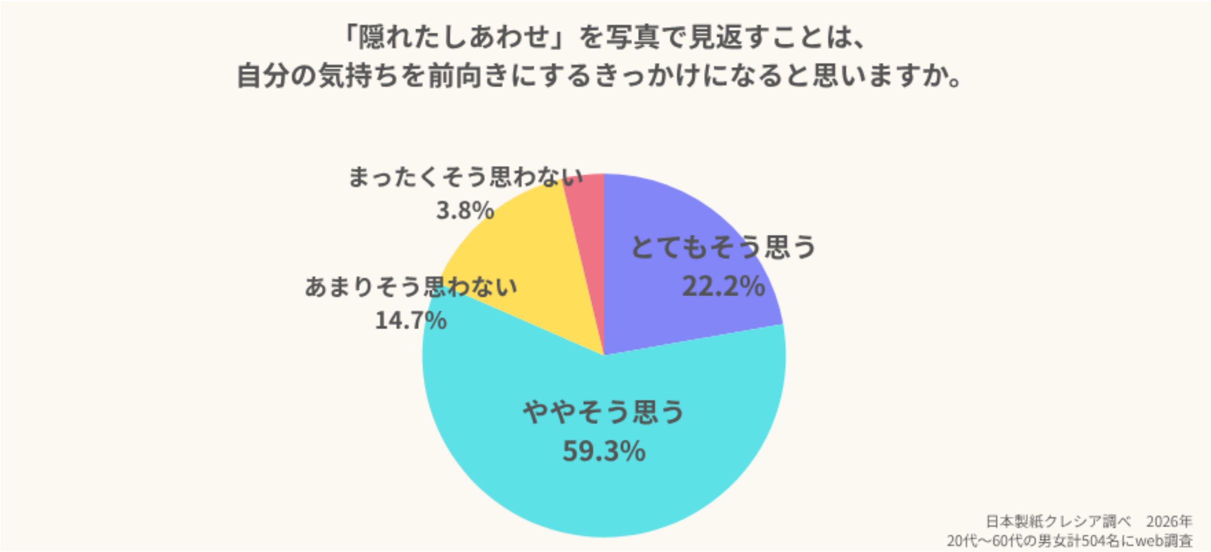
■調査結果サマリー
日本製紙クレシアが実施した「隠れたしあわせ」に関する調査では、以下の結果が得られました。

1. 普段、日常の中にある「隠れたしあわせ」をどの程度意識できていると思うか
- とても意識できている：6.6％
- ある程度意識できている：34.7％
- あまり意識できていない：44.0％
- ほとんど意識できていない：14.7％

2. 「隠れたしあわせ」の瞬間を、写真に残しておきたいと思うことがあるか
- よくある：13.3％
- たまにある：52.2％
- あまりない：26.6％
- まったくない：7.9％



3.「隠れたしあわせ」を写真で見返すことは、自分の気持ちを前向きにするきっかけになると思うか
・とてもそう思う：22.2%
・ややそう思う：59.3%
・あまりそう思わない：14.7%
・まったくそう思わない：3.8%



■まほうのだがしや「チロル堂」について
チロル堂は奈良県生駒駅から南に歩いてすぐの場所にあります。暖簾をくぐるとすぐに駄菓子の販売スペースが。入口横にカプセル自販機があり、18歳以下の子どもは買い物前に100円で1回、マシーンのレバーを回すことができます。カプセルの中には“チロル札”が入っていて、1枚が100円の価値のある店内通貨「チロル」になります。うまくいけば2～3枚入っていることも。子どもたちは1チロルで、駄菓子を買ったり、通常600円のカレーや300円のポテトフライを食べたりできます。それを可能にしているのは、大人が飲食などで支払った代金の一部が寄付される仕組みです。これがチロル堂の魔法です。困っている子も情けない思いをせずに、お腹いっぱいにご飯が食べられる場所が地域に開かれることを目指しました。
・ホームページ　https://tyroldo.com/
・Instagram　https://www.instagram.com/tyrol.do/

■日本製紙クレシア コーポレートスローガン&メッセージ

ふれるいちまい。 拭くいちまい。 ささえるいちまい。
私たちがつくるのは、ただの紙じゃない。
すべてのいちまいは、衛生への思いでできています。
身のまわりの世界が、すこやかに保たれていること。
昨日と変わらない、ここちよい今日を過ごせること。
しあわせの原点には、きっと、
そんな何気ない衛生が欠かせないから。
どんなに時代が変わっても、毎日に衛生を届けていく。
私たち、クレシアの約束です。
衛生を、ずっと

■コーポレートムービー 「いつも人生のそばに

https://youtu.be/7RJXcvDWv_E?si=5jUqaCV2LBByGOBY